

利休:

千利休についての対照的な見方

ある者は彼を、大家と言ひ
またある者は、賢い実業家と呼ぶ

ある者は、彼を茶道の神と崇め
またある者は、ただの政商と考える

唇が茶碗に触れると
たてたばかりの茶から
立ち昇る
静けさと暖かさ

ここにいったい
何のラベルが必要だろう

ミン: この詩は良い点を突いている。つまりそれは、人は皆それぞれ様々な側面を持っているという点です。

ティン: 確かに。どうしてすぐに、なんでもかんでも型に押し込めたがるのかなあ？そのことについてこそ、考えてみる価値があるんじゃないか。。。

悟: 私は、考えるより、お茶をすすっている方がいいな。ああだこうだと考えても、そんな考えの95%は、時間の無駄だよ。

- T Newfields

開始：1997 静岡市・♪完成：2023年 横浜

